

(1) H25実施予定	3
(2) H24実施	5
(3) 継続実施	5
(4) その他	1

## 若者の幸福指数アッププロジェクト

### 1 君を待つ場所

#### 1 1歩踏み出せる場所づくり

- ①学校や家庭に居場所を見いだせない子どもやその家族が気軽に訪れる場の提供
- ②医療機関や就労支援機関、福祉施設などと連携する「ワンストップサービス相談窓口」の設置

- ①H24年度に「子ども・若者育成支援地域協議会」を設置し、その中で検討予定
- ②相談窓口のあり方も、協議会の中で検討予定

社会教育課 (3)

#### 2 若者応援ネットワークづくり(若NET)

- ①行政主導でなく、ネットワークNPO、青少年育成団体、企業、地域、医療、法律、行政等各専門機関)をつくり、FB等を活用してリアルタイムで情報を共有
- ②参加する団体の把握や各団体の育成

- ①子ども・若者育成支援地域協議会における関係機関のネットワーク強化
- ①②(社)青少年育成山梨県民会議が行う「青少年関連NPO法人等ネットワーク化を推進する事業」により、「青少年関連NPO法人等ネットワーク会議」を開催
- 各団体の活動状況、課題の共有を行うとともに、今後はより一層のネットワーク化を図り、分科会等による活動も模索していく。
- データベースを作成し、関係団体と連携

社会教育課 (2)

#### 3 やまなし寺子屋の開催

- ①不登校や高校中退者などで進学や就職ができない青少年に対して団体、NPO等などと協働して「学習」の場を提供。(事業主体の選定、会場の確保、チューターの交通費等)

- やまなし寺子屋という名称で無料の塾の設置の提言は影響が大きい
- 県教委としての取り組みを考える場合、学校教育の対応を検討する必要がある
- 県としての事業実施は、県内にくまなく学習場所を確保する必要を生じさせ財政面での負担が大きい

教育委員会 (4)

### 2 若者のやる気アップ

#### 1 次世代サミット ～若者による社会づくりと交流～

- ①若者が自ら考え企画し、意見を交わし、様々な立場の人と交流をさせる場を提供。(公募による委員募集、県への施策提案等)

- ①未来のリーダー養成事業の中で、参加者のネットワークづくりについて検討。

社会教育課 (3)

#### 2 若者のマナーアップ運動の実施

- ①高校生のマナーアップのため、学校、地域が一体となった啓発活動を推進(学生が登下校する際の電車、自転車利用のマナーアップの呼びかけ)

- ①H24から「しなやかな心の育成プロジェクト」を立ち上げ、県内高校を対象に家庭・地域・関係団体と連携した「通学時マナーアップ運動」を実施

高校教育課 (2)

#### 3 ドリームギフトプロジェクト

- ①県内外で活躍している人を講師に、青少年たちに夢を与えるようなきっかけ作りの場とする。(講師の選定、出前講座の募集及び調整)

- ①今後も、学校教育の中で著名人による講演機会の確保を検討

社会教育課 (3)

### 3 大人の意識チェンジ

#### 1 学習機会の提供

- ①親向け講座・セミナー等の開催(若者が抱えている問題や課題を学べる機会の提供)

- ①自己の人格を磨き、豊かな人生を送るための生涯学習メニューを引き続き提供
- ①小中高の親を対象とした、「思春期の子どもを持つ親のためのセミナー」を開催。今後も引き続き実施

生涯学習課 義務教育課 (3)

#### 2 家庭教育地域リーダーの育成

- ①既に育成した人材の活用や家庭教育の重要性を教える人材養成
- ②リーダー取得者登録バンク及びやまなし「親」学習プログラムの活用
- ③家庭で取り組んでいる親子のコミュニケーションの好事例を紹介(HP等で情報発信)

- ①②既に育成した支援者のレベルアップを目的として、H25から子育て支援リーダー・ステップアップ事業を実施
- 教育事務所、市町村、市町村教委に名簿を送付し活用を推進。活用例はHP等で周知
- ③ H24から取り組む「しなやかな心の育成プロジェクト」の中で、家庭で取り組む好事例の紹介、親子の交流の様子、感想等をHPに掲載

社会教育課 (1)

#### 3 子育てに悩みを抱える親への応援

- ①相談を受けた内容をHP上で紹介
- ②相談を電話、メール、FAX、手紙等で受付

- ①相談窓口の周知方法をさらに充実させ、HP上で相談事例の紹介。児童家庭課と連携したQ&Aの充実
- ②相談の受付方法は、総合窓口という性格を踏まえ、従来どおり電話や面接による相談を継続

社会教育課 (2)

#### 4 県立文化施設の活用

- ①夏休みのフリーパスポートの対象を高校生まで拡大
- ②若者向けプログラムの広報の充実

- ①子どもがいる家庭が施設を利用しやすい方策の検討
- ②今後も積極的な広報活動により、さらに効果的な広報に努める

学術文化財課 (3)

#### 5 さわやかスマイルプロジェクト

- ①心豊かでいきいきとした若者を育てるため、まずは大人が地域の大人や子ども、若者にあいさつをし、温かく見守り支えていく環境をつくるのが重要。(心に残る挨拶の募集、県民向けの挨拶リレー等)

- ①職員へのあいさつ運動の推進、実践事例集のHPへの掲載及び庁内電光掲示板・広報番組等による啓発。今後も効果的な運動拡充の方策を検討
- ①(社)青少年育成山梨県民会議と県の共催で、青少年育成「声かけ・あいさつ運動」啓発キャンペーンを実施。今後は補助制度についても検討

県民・男女社会教育課 (2)

#### 6 有害サイトへの警告について

- ①大人や親子を対象としたスマートフォンやパソコン教室の実施
- ②関係課や事業者等が連携した情報機器の利用のための環境づくり(子どもヘルプデスクの設置、メールでの相談受付)

- ①講師の養成及び広報啓発による注意喚起
- ②青少年のインターネット利用環境整備連絡会議で検討

社会教育課 (1)

### 4 若者施策の充実

#### 1 地域協議会の設置

- ①行政で支援ができない若者たちの問題や課題について問題を共有するために、一堂に介した協議会を開催
- ②国と同様に「子ども・若者育成支援強調月間」を設け集中的に事業を実施

- ①H24年度に「子ども・若者支援地域協議会」を設置し、子ども・若者に関するさまざまな問題について検討
- ②(社)青少年育成山梨県民会議において、国の月間に併せて、街頭キャンペーンを実施予定

社会教育課 (2)

#### 2 山梨県若者サポートステーションの周知・充実

- ①周知のための工夫(HP、ちらし、ポスターや活動内容を紹介)

- ①今後県広報ラジオ番組等を通じ周知を行う。また、サポートステーション充実のため、富士東部地区で1カ所の拡充を図るべく、実施団体の推薦を実施。

社会教育課 (1)